

## 平成 26 年度第 3 回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 27 年 2 月 27 日 (金)

13 時 30 分～15 時 00 分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

### 1 開 会

### 2 会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 17 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。  
(協議会規約第 6 条第 2 項)

### 3 あいさつ (しなの鉄道活性化協議会会長)

今日は第 3 回の活性化協議会ということでございますが、大変お忙しい中ご出席をいただきまして本当にありがとうございます。また、本年度は総合連携計画に基づく年度の最終年度ということでございますが、皆様のご協力によりまして、ここまで計画していた事業をほぼ計画通り実施することができております。改めまして皆様方の大変なご協力に対しまして感謝申し上げる次第でございます。

本年度の輸送人員ですが、これまでのところ定期外と通勤定期につきましては前年を上回るという状況でございますが、通学定期が落ち込んでいるというような状況もございまして、全体では昨年を若干下回っているという状況でございます。

今のところの見通しでは、私共が最終的に目標としております年間 1000 万人以上、この目標については若干微妙な要素はございますが、なんとか達成できるのではないかとこのように思っております。

残された期間僅かではございますけれども気を緩めることなく今後も努力して参りたいと思っておりますので、どうぞ皆様ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

さて、北しなの線の開業の関係でございます。いよいよ後 15 日、2 週間ということになりました。現在の準備も最終段階というよりもまさに臨戦態勢に入っているといった状況でございます。現在は開業前夜から当日にかけましての機器であるとか、設備であるとか、あるいはそのシステムがちゃんと動くのかどうか、JR から引き継ぎをするわけですけれども、それがきちんと切り替えができて、移行ができるかどうかという確認とチェックを行っている。そんな状況でございます。

それから、先日は北しなの線沿線の住民の皆様に対しまして各地区ごとに説明会というものを開きまして、運行ダイヤや運賃の関係、あるいは駅の営業体制であるとかそういった説明をしたところでございます。

また明日からは長野駅におきまして、定期券の事前発売も始まるということで、まさに臨戦態勢に入っているといっても過言ではないと思っております。

従来から申し上げておりますように、北しなの線の開業というものは我社にとっては第2の開業という大変重要なことでもありますので、是非きちんとスタートできますように、今後とも最大限の努力をして参りたいというふうに思っております

本日は、来年度の生活交通の改善事業計画につきましてご支援をいただくということでございますけれども、その他にこの3月に予定をしておりますダイヤ改正を踏まえた軽井沢小諸間の増便の実証運行の関係、それから本年度の事業の実施状況などにつきましてご承認をいただく予定でございます。是非とも闊達なご議論をお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶といたします。どうぞよろしくお願い致します。

#### 4 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

- (1) 平成27年度しなの鉄道（株）しなの鉄道線生活交通改善事業計画（案）について  
事務局から「資料1」を説明。

##### <議長>

説明は以上ですけれども、この件に関しては以前から度々申し上げているところで、先ほどの説明にもあったように、来年度予定をしていた事業の一部について国の補正予算の関係で一部前倒しになったものがあり、これに伴って今年度の事業として前倒しになったものがありますので、それを除いたものということになろうかと思っております。今日もしここでご承認をいただければ、国のほうにあげていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

それでは、この件についてご質問・ご意見がありましたらよろしくお願い致します。

いかがでしょうか。詳細な説明があったんですけれども、大きく分けるとバリアフリーを除いていわゆる設備投資的なものとそれから修繕的なものに分かれておまして、設備投資的なものについては、国の補助の他に従来から自治体の方に補助をお願いして、結果としては国が三分の一、自治体が三分の一、私共しなの鉄道が三分の一の負担をするという形になっております。

今回は小諸駅のエレベーター、それから屋代駅のエレベーターの関係で事業費がございます。この関係についてもそれぞれ小諸市さん、あるいは千曲市さんの方に一定の負担をお願いする形になっておりますが、いかがですか？

##### (質問・意見等)

ア. よろしく申し上げます

イ. よろしく申し上げます。もっと安くできればありがたいです。

##### <議長>

他にご意見はございませんか？無ければご承認をいただいたということで、国の方に申請をして参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

原案のとおり承認。

<議 長>

続きまして議題の 2 番目でございますけれどもダイヤ改正後の軽井沢－小諸間増便実証運行について説明をお願いします。

(2) ダイヤ改正後の軽井沢－小諸間増便実証運行について  
事務局から「資料 2」について報告。

<議 長>

只今、軽井沢小諸間の増便の実証それから関連いたしましてダイヤ改正の関係についての説明がございました。説明にもありましたように軽井沢小諸間の増便の実証運行については、数値的にもはっきりと効果がでていえるのではないかと感じております。それからダイヤ改正に関連致しまして従来朝と夕方の快速列車では、ライナー券という形で運賃の他に 200 円をいただいておりますけれども、ダイヤ改正以降は車両が変わるということでこれについては朝夕とも廃止をしたいということが一つございました。そういったことも含めてご意見・ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

(質問・意見等)

ウ. 特に無いですけども、プラス 200 円の廃止っていうことは利用者にとっては大変ありがたいことではないかと思いますが、全般にラッシュを避けるという点では鉄道の利用は有効だと常々思っています。そういう点でも今のようなお話は大変ありがたいと思っています。ありがとうございます。

<議 長>

他にございますか？

どうぞ皆さん、遠慮なさらずに出していただきたいと思いますが増便運行の関係についてはどうですか？

エ. 新幹線の最終便に対応する接続列車があるということで、しなの鉄道に乗らずに車で軽井沢駅に来られる方が、少しでもしなの鉄道を利用していただいで、できるだけ利便性の向上を計ることによって沿線に人が流れるようになってくれればいいと思っていますので、今回のダイヤについては良いのではないかと私共も考えております

<議 長>

他にいかがですか？増便の実施運行についてはまさに名前が示す通り実証運行ですから、位置づけとしてはあくまでも試している、臨時的な措置です。数値的には効果が出ているのですが、これが実証されて5年が経つということですので、私共といたしましては従来から申し上げているとおり、5年が経ったということで一つ実証運行について総括を試みたいと思っています。確かに数値的には結果は出ておりますが、数値以外の面でどういう効果があったのか、あるいは課題としてどういうものがあるのか、まさに実証運行という名に相応しいように、実績を踏まえて総括をしたいというふうに思っております。

こういった関係も含めてどうでしょうか？

特に意見が無いようですので、そういうことも含めて来年度皆様にご協力をお願いすることになるかと思いますがよろしくお願い致します。

それでは2番目の議題については以上にしたいと思います。

(3) 平成26年度活性化協議会事業の実施状況について

(4) 平成27年度予定事業の概要について

事務局から「資料3」並びに「資料4」について一括して報告及び説明。

<議長>

今年度の事業と実施状況に関連をいたしまして来年度の予定事業の概要ということでございました。以降の協議会において正式に平成27年度の事業計画というものは提示をしたいというふうに思いますが、とりあえずは現時点では大まかに言うところなことを考えているということでご提案を申し上げます。

事業実施状況の一覧表については、一見して非常に多彩な事業を数多く展開しているというふうに感じますが、常々申し上げておりますように今しなの鉄道はいろんな意味で環境変化というものがある。そういった変化を踏まえた新しい営業戦略というものこの2・3年積極的に打ち出しているということもあって、特に地域という視点を大事にする。地域に軸足を置いた施策というものを出していこうということで、それがキーワードとなっているような施策を展開しているといった状況ではないかなと思います。

「ろくもん」がまさにそうなのですが、他にはシルバーパスであるとか、沿線プロスポーツチームですね、プロスポーツというのは非常に地域密着というか、地域を意識した取り組みというものを、チーム自身が非常に積極的にやっていますのでそういったところから取り組みというものが地域活性化に貢献するという意味があるかなというふうに考えて、意識的に対応しているそんな状況でございます。そういったことを含めて、皆様のご意見・ご感想、あるいはもっとこうしたらいいんじゃないかそんなことがありましたら是非今後の参考にしたいので出していただきたいと思っております。いかがでしょうか？

(質問・意見等)

オ. 篠ノ井に住んでいるもので、今まさにパルセイロの関係で申し上げたいと思うんですけど、いよいよ新しい球場が新装開店になりますので、駅利用のサポーター達が大勢篠ノ井駅に降りるのではないかと期待もある中で、是非しなの鉄道さんに頑張っていたきたいなと思うんです。

篠ノ井駅から南長野運動公園まで歩くというイベントがあったんですが、歩くのも結構なんですけど、よりしなの鉄道を利用するサポーターに来ていただく為にはしなの鉄道さんというより篠ノ井の方の問題かもしれませんけれども、あそこから直通バスとかがあれば、いろんな世代のサポーターが来てくれるんじゃないかと思っております。

そんなことと今いろんなイベント事業の報告をお聞きしまして、しなの鉄道さんに地域が刺激されているいろいろなことがなされているかのように感じる位ですね。しなの鉄道さん一生懸命積極的にいろんなことを企画されているかなとありがたく感じております。

27年度を見ましても、さまざまなことを先手先手という姿勢でやっていただくようですので、大変将来明るいものがあるのではないかと思ったところです

もう1点ですが、バリアフリーということでご努力されていることをお聞きしました。予算的なこともあったりですけども、まずバリアフリーといいますとエレベーター設置というふうにもここにも掲げられているんですけども、私個人の感想かもしれませんがエレベーターももちろん最低必要なものですけども、エスカレーターがあったらいいなと常々思っているところです。だんだん歳をとってきたせいもありますけれども、重たい荷物あるいはキャリーバックを持った場合、いちいちエレベーターの所まで行く時間がない、スーッと階段の横をエスカレーターで行けたらいいなと本当に実感として思っているんですけど、エレベーター設置が終わったらエスカレーターかなと思っておりますのでお伝えしておきます。以上です。

<議長>

はい、ありがとうございます。

あのパルセイロに関してはですね、先ほど事務局の方から説明があったように、私共地域の仲間であるパルセイロを全面的に応援しようということでラッピング列車を使った応援列車を仕立てているわけです。ところが実体的に見てみますとですね、私共が期待したよりはやや少ないかなと、実際にご利用される方が。応援列車ですからサポーターの方で溢れかえって熱気がどんどんするようなそういう列車というものを実現できたらいいなと思っただけなんですけど、思ったほどではない。この意味は2つありまして、1つは絶対値として少ないということがあるんですね。もう1つはエリア的に軽井沢から北長野までを運行したんですけども東信地域がやはり少ないんですよ。実際には屋代とか篠ノ井とか、まあそのへんから乗っていくという方がボリ

ューム的には多かったということで、今度の新しい競技場は収容人数が 15,000 人ということを見ると長野周辺だけでは限界があるので、もっともっと東信の方からも行ってもらうようなしくみが必要かなと思うんですね。

まさにしなの鉄道といのはそういうエリアをカバーした鉄道ですから、なんとか乗っていただけるようなしくみというものをいろんなレベルで考えていきたいなと思っています。まあチケットの問題とかいろいろあるんで是非考えていきたいと思います。

それから沿線にはもう 1 つプレイブウォリアーズというバスケットのプロスポーツチームがあるんですけどそちらとも連携を取ってやっていきたいと思っています。

それからバリアフリーは、今計画的にエレベーターはやっていますが、実際まだエレベーターも設置できないような駅っていうのはいっぱいあるんですよ。ですから計画的にやっているんですが、まずはやはりエレベーターというものをきちんと整備をしていくと、後は会社の体力の問題もあるんですけども、バリアの無い状況というものをどうやって工夫していくかということだと思いますんで、念頭にはいつも置いておりますから是非またいろんな駅で多角的に検討してみたいなと思っています。

他にいかがでしょうか？

カ. 今、パルセイロの関係が出ましたけれども、27 年度はパルセイロ 1 本ですね、しなの鉄道さんが地域の応援団の核になるようなそんな感じで、駅に行ってパルセイロの応援の例えばサポーターのいろんな情報が得られるんだよと、それから列車に乗って行くと、入場券とのセットで行けば割引になりますよとか、当然そこらへんもお考えとは思いますが、なにしろムード作りに駅を中心にしてですねやっていたような形が取ればいいのか。なにしろ人の動きというのは駅を中心にして動いているもんですから、そこらへんを東信のしなの鉄道の各駅はもうオレンジカラーでいっぱいになっていけば応援団も大勢できますでしょうし、地域の活性化の繋がりにもなっていくと思いますんで、先ほどの会長のお話のようになにごんよろしくお願い致します。 以上です。

<議 長>

ありがとうございました。

実は一昨日ですね、長野市内でパルセイロのシンポジウムがありまして私も出てその際も申し上げたんですけどね、やはり沿線の仲間であるパルセイロをしなの鉄道としてもっともっと応援しているという姿勢を強く出す必要があるのかなということで、パルセイロを意識せざるを得ないような風景を作り出したらどうか。

それにはうちの場合には鉄道会社ですから、ツールとして列車と駅があつて、駅をこれからは少しパルセイロを意識するようなことを少し工夫したていきたいと思っています。

前も実はパルセイロのインフォメーションコーナーというのを設けて、主要駅だけですけども、パルセイロの成績であるとか、次の試合予定であるとか、グッズの紹介であるとか、ポスターを貼るとかいろいろやったんですね、で、それをもっともっと広げていけたらなと思いますし、例えば列車においてもですね、今は車内にモニターがあつて一定の映像が流れているんですけどね、そういうところで選手の紹介をしたらどうかとか、あるいは応援列車を運行の時にはいつそのこと運転士とか車掌もパルセイロのユニフォームを着て運転したらどうかとかそんなことも言ったんですけども、ユニフォームは法律的な制約があつて難しいみたいですけども、出来るだけのことはやりたいなというふうに思っています。

他にいかがですか？

キ. 今年は善光寺の御開帳があるんですけども、そういったものの対応というのは何かお考えはあるのでしょうか？

<議 長>

まだ確定はしておりませんが、一定の臨時列車を運行したいなというふうには思っております。他にいかがですか？

ク. 取りたててこれということは無いんですけど、今聴いていますと本当にいろいろ工夫があつて、長野市も3月14日から北ができますとその取組みが北にとっても非常に参考になると思つて聴いておりました。

<議 長>

北しなの線の場合はですね、なんといつても利用促進が最大の課題なんですね。その為はどうするかという議論を運営協議会というものを作って今議論しているんですけども、やはりしなの鉄道線ですね、この18年の取り組みの成果っていいですかね、大いに北にとっても参考になると思うので、今後北の方と先ほど提案がありましたけれども、連絡会議などを設けて一緒になって考えていきたいなと思っております。

他はいかがですか？先ほどラッピング列車という話もありましたけれども、そのへんも含めていかがですか？

ケ. ラッピング列車の関係はですね、今年度地元の住民の方にいろいろ町のキャラクターであるねずみ大根を使った「ねずこん」というキャラクターを使って宣伝をしていきたいということで、いくつか住民の方に提案をしていただいたわけです。その中にはねずこんを型取った料理ですとか、宣伝とかいろいろあった中に、選考委員会の中で一番良かったのがラッピング列車の提案でした。担当課は観光の方でや

っているんですけれども、それを是非実させたいということで、具体的にどこまで進んでいるかは確認はしていないんですけど、ねずこんを使ったアイデアの中で最優秀賞をとったということで、実現していきたいということで担当課の方で動いている、そんな状況ですので、また是非ご協力をお願いしたいと思います。

<議 長>

はい、わかりました。他にいかがですか？ ご意見ございませんか？

それでは先ほども申しあげましたように 27 年度の事業については次の協議会でより詳細な計画案を示したいと思いますので、是非ご意見などがありましたら寄せいただければと思います。

では、この議題の関係は以上をしたいということで、次にはその他ということになりますが、事務局の方で何かありますか

<事務局>

その他事項といたしまして、協議事項の(1)と関係いたします生活交通改善事業計画について過日書面協議を行わせていただきました結果についての報告をさせていただきたいと思います。

事務局から「資料5」について報告。

<議 長>

他にありますか？

(事務局)

その他の添付資料について説明。

<議 長>

それでは今日予定を致しました件については以上でございますが、全体を通して何かございますか？ よろしいですか。以上で今日の協議会を終了したいと思います。ご苦労さまでございました。

4 閉 会

以 上